

兵庫医療大学
社会学連携推進機構
2020年度報告書



兵庫医療大学
社会学連携推進機構

はじめに

本学が「地域貢献」を大学の使命の一つとして位置付け 2015 年 4 月に開設した社会学連携推進機構は、2017 年度から本学アドバイザーボード会議（今年度は 2021 年 1 月～2 月に持ち回り開催）を年 1 回開催し、学外有識者の皆様から本学の社会学連携活動についてご指導ご助言を賜り、質の保証と転換に取り組んでいます。また、開設以来、年度報告書を発行し、「社会学連携ポリシー」だけでなく 2018 年度からは測定可能な到達目標も設定し、自己点検・評価を実践しています。これらの取り組みが評価され、2020 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 3「地域社会への貢献（地域連携型）」に 2 年連続で採択されました（申請大学 151 校中 49 校採択）。

しかし、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防対策として、本学でも学内への学外者の立ち入り禁止、教職員・学生の学外での活動自粛を余儀なくされました。その結果、社会学連携推進機構は予定していた活動の多くを中止しました。このような状況下においても粛々と年度報告書を作成すべきであると考え、本報告書には COVID-19 禍においても実施した活動ならびに自己点検・評価を取りまとめました。関係者各位におかれましては、「地域と共に学ぶ大学」としてウィズコロナ／ポストコロナ時代においても兵庫医療大学がさらに発展していくため、是非、ご一読の上、ご指導・ご助言いただければ幸いです。

2020年度の活動報告

地域創生を目指して

<到達目標>

- ①-1：新卒学生における兵庫県内就職率 50%以上
- ①-2：地域創生に資する Project Based Learning 実践学生 10 名以上/年
- ①-3：兵庫県多自然地域の企業における新製品開発支援 2 件以上/年

兵庫県の助成を受け薬学部「薬活オウルズ」が取り組んでいる「もっと兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおう」プロジェクトも、COVID-19 禍の煽りを受け、「漢方の里まつり」「薬草を食べよう！」などの恒例行事を 2020 年度は開催できませんでした。しかし、学生たちが参加できなかったのが残念ですが、丹波市立和田小学校との連携活動「当帰葉栽培プロジェクト」については、3 年目ということもあり、和田小学校に主体的

に取り組んでいただき、児童たちにより当帰葉が無事に収穫されました。現地での「薬活オウルズ」による運営・活動支援がなくても、地域で「当帰葉栽培プロジェクト」を遂行できるようになったことを実感し、これこそ真の地域創生であると喜んでいる次第です。なお、児童たちが収穫した当帰葉は、「薬活オウルズ」の企画提案による新しい商品名・パッケージにて丹波市立薬草薬樹公園のリニューアルオープンを記念して 2020 年 10 月から 3 年ぶりに販売が復活された入浴材「ポカポカとうき薬風呂」の原材料として活用されました。

学生たちと薬草組合トウキ生産部会の皆さんとの協働による当帰葉栽培は、COVID-19 感染状況を見計らって、6 月、7 月そして 10 月に各月 1 回ずつ実施し、10 月に収穫した当帰葉を使った新製品「特選新葉とうき薬茶」の開発に貢献しました。



さらに、薬学部 2～4 年生 11 名が自宅で当帰葉を使ったメニューの開発に取り組み、「薬学生が考えた！お手軽トウキ葉レシピブック」を 2021 年 3 月に発刊できました。この取り組みは 4 月 21 日に神戸新聞に、4 月 22 日に丹波新聞に大きな記事として取り上げていただき、学生たちも大喜びです。なお、トウキ葉料理レシピブックは、丹波市立薬草薬樹公園における当帰葉ポット苗の販売開始に合わせ 2021 年 4 月 22 日から同公園にて無料配布しています。

これらの活動を通して学生 30 名（延総数；前年度 77 名）が地域創生を目的とする PBL を実践するとともに、新製品として「ポカポカとうき葉風呂」と「特選新葉とうき葉茶」の開発も支援できました。素晴らしいレシピブックも制作することができ、COVID-19 禍にも関わらず、何とか到達目標①-2 と①-3 を達成できました。なお、2020 年度の

3 学部卒業生の兵庫県下への就職率は 61.2% でした（前年度 62.9%）ので、到達目標①-1 も達成しています。

地域医療を担う人材の育成

<到達目標>

- ②-1：ポアアイコンズ／篠山 commons での活動 10 回以上/年
- ②-2：地域医療の発展に資する Service Learning 実践学生 30 名以上/年

本学と協定を締結している丹波篠山市健康福祉部が 2020 年度に開催する予定であった恒例行事はすべてキャンセルされただけでなく、本学は兵庫医療大学・ポアアイコンズと篠山 commons における活動も自粛しました。その結果、今年度は、commons を活用した Service Learning 実践の場を学生たちにまったく提供できず、残念ながら、到達目標②-1 と②-2 を達成できませんでした。

共同研究・受託研究の推進

<到達目標>

- ③-1：企業との共同研究・受託研究の実施 5 課題以上/年
- ③-2：他大学との共同研究の実施 1 課題以上/年
- ③-3：共同研究の成果として論文・学会発表または特許出願 1 件以上/年

2020 年度の共同研究・受託研究は前年度からの継続 8 課題と新規 4 課題です（表 1）。2019 年度の 15 課題には及びませんでした。共同研究・受託研究 12 課題の実施、摂南大学との共同研究の継続、そして、これらの研究成果として 3 編の論文の発表（表 2）

により、到達目標③-1～③-3すべてを達成できました。

表 1. 2020 年度 共同・受託研究一覧*

	共同・受託研究機関	学内担当者#
継 続	摂南大学 (共同研究)	薬・准教授 清水 忠
	ユニ・チャーム (株) (共同研究)	リハ・教授 川口 浩太郎
	(株) ホーマーイオン研究所 (共同研究)	リハ・教授 玉木 彰
	(株) ナカセビューティケア 4/1/2019～9/30/2020 (受託研究)	薬・教授 戴 毅
	兵庫医科大学 国立研究開発法人理化学研究所 (共同研究)	リハ・ 准教授 宮本 俊朗
	奈良県薬事研究センター 7/1/2019～3/31/2021 (共同研究・契約 1)	薬・講師 岩岡 恵実子
	マクセル株式会社 (共同研究)	リハ・教授 坂口 顕
新 規	国立研究開発法人理化学研究所 (共同研究)	薬・教授 戴 毅
	(株) ナカセビューティケア 10/1/2020～3/31/2022 (受託研究)	薬・教授 戴 毅
	奈良県薬事研究センター 11/1/2020～3/31/2021 (共同研究)	薬・講師 岩岡 恵実子
	(株) 木幡計器製作所 (共同研究)	リハ・教授 玉木 彰

* 連携先機関等との守秘契約のため、取り組んでいる共同・受託研究の課題名、テーマ等は記載していません。

薬：薬学部、リハ：リハビリテーション学部。

表 2. 2020 年度 共同・受託研究の成果発表

1) 上田昌宏, 清水 忠, 薬学生を対象としたチーム 基盤型学習による EBM 教育～兵庫医療大学にお ける取り組み～, 薬学教育, 2020, 4, 2019- 033.
2) 清水 忠, 西村奏咲, 大原隆司, 薬学部初年次学 生に対する基礎有機化学と臨床をつなぐチーム 基盤型学習のデザインと評価, リメディアル教 育研究, 2020, 14, 29-37.

- 3) 藤原正規, 中澤公揮, 甲谷 繁, 塚本効司, 小淵
修平, 上田寛樹, 川島 祥, 上田昌宏, 清水
忠, 物理系薬学実習におけるレポートループリ
ックおよびピア評価導入の試み, 薬学教育,
2021, 5, 2020-068.
- 4) 尾崎晴美, 塚越累, 笹山賢一, 近藤 唯, 井上康
司, 川口浩太郎, 骨盤帯ベルトが運動力学的観
点から歩行に及ぼす影響, 運動器リハビリテー
ション, 2020, 31(2), 129-135.

「ひとつづくり」支援

<到達目標>

- ④-1：薬剤師生涯学習セミナーの開催 2
回以上/年
- ④-2：地域在宅看護実践力育成プログラ
ム受講者 10 名以上/年
- ④-3：PT・OT 臨床カスステップアップ
プログラム受講者 10 名以上/年

2020 年度も文部科学省認定「職業実践力育
成プログラム (Brush-up Program: BP)」
として、看護学研究科では「地域在宅看護実
践力育成プログラム」を開講し 10 名の修了
者に、医療科学研究科では「PT・OT 臨床カ
スステップアッププログラム」を開講し 11 名
の修了者に、履修証明書を発行しました (表
3)。COVID-19 禍においても到達目標④-2
と④-3を達成できたことは、両研究科の教員
だけでなく、ご協力いただいている学外講師
の皆さまが、YouTube などを活用した非同期
型リモート授業、Zoom や Meet などを駆使
した同期型リモート授業、そして感染予防に
留意しつつ対面授業を効果的に実施した賜物
です。学外講師の皆さまには、この場を借り
て、お礼申し上げます。なお、2021 年度は
「在宅看護実践力育成プログラム」を 11 名
が、「PT・OT 臨床カスステップアッププログ
ラム」を 6 名が受講予定です。

薬学研究科では、COVID-19 禍の影響により、地域の薬剤師を対象として年 2 回開催予定の「生涯研修セミナー」を 1 回しか開催できませんでした。また、全 8 回シリーズの「中医薬実践講座 中級」については開催を自粛しました。しかし、薬学部・准教授・清水が、地域薬剤師の生涯学習の場としてオンラインにて Evidence Based Medicine (EBM) 実践講習会を 7 月から毎月 1 回提供しました。毎回参加者も多く、到達目標④-1 を達成できたと考えています。

表 3. 年度別 BP 受講者・修了者数

年度	地域在宅看護実践育成プログラム	
	受講生	修了生
2016	18	14
2017	12	13
2018	20	20
2019	11	11
2020	12	10
2021	11	

年度	PT・OT 臨床力ステップアッププログラム	
2016	14	13
2017	7	7
2018	6	5
2019	16	13
2020	14	11
2021	6	

総数	147	117
----	-----	-----

一方、地域住民を対象として計画していた講座、セミナーの多くは COVID-19 感染予防対策の一環として開催自粛しましたが、オンラインで対応可能な講座とワークショップについては開催しました。表 4 にまとめたように、2020 年度はオンライン EBM 実践講習会

を含め講演会、セミナー等を 14 回しか開催できませんでした（昨年度実績 60 回）。今回のようなパンデミックにおいても地域の住民や医療専門職者に生涯学習の場を提供できるプラットフォームの設計と確立が急務であると痛感しているところです。

表 4. 2020 年度に実施した講演会、セミナー等

開催日	講演会、セミナー等の演題 (担当者*)
7 月 17 日 (金)	第 1 回 Web-EBM 倶楽部 COVID-19 に対する デキサメタゾンの効果 (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
8 月 22 日 (土)	第 2 回 Web-EBM 倶楽部 バロキサピルの 家庭内感染予防効果 (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
9 月 26 日 (土)	第 3 回 Web-EBM 倶楽部 エンバグリフロジンの糖尿病患者 以外への心不全への適用研究 (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
10 月 24 日 (土)	ポーポキ・ピース・ネットワーク 第 10 回ワークショップ 「健康って、なに色？」 (薬・桂木 聡子)
10 月 31 日 (土)	第 4 回 Web-EBM 倶楽部 システマティックレビューの読み方 1 ～ビタミン D サプリメントと 死亡率との関連を題材に～ (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
11 月 28 日 (土)	第 5 回 Web-EBM 倶楽部 システマティックレビューの読み方 2 ～SGLT2 阻害薬と循環器疾患発生 との関連を題材に～ (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
12 月 29 日 (火)	第 6 回 Web-EBM 倶楽部 年末スペシャル ～今年、気になった論文を 一気に紹介します～ (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
1 月 24 日 (日)	第 7 回 Web-EBM 倶楽部 システマティックレビューの読み方 3 ～マスクとインフルエンザ ウイルス感染率との関係～ (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)

2月27日(土)	処方支援の基盤となる 医薬品情報とは！ ～入手可能な医療情報を 最大限活用するために～ (摂南大・薬・上田昌宏)
2月28日(日)	第8回Web-EBM倶楽部 高齢者に対する エドキシパンの効果 (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)
2月28日(日)	大学都市KOBÉ！発進プロジェクト 特別講義 あなたの知らない薬のフシギ (薬・岩岡 恵実子、桂木 聡子)
3月12日(金)	嚥下機能低下予防講座 ～いつまでも自分の口から 食べ続けるために～ (薬・桂木 聡子)
3月13日(土)	パパが知っておきたい、 子どもへの関わり方の秘訣 ～夜の学舎編～ (看・阿川 勇太)
3月27日(土)	第9回Web-EBM倶楽部 緊急避妊薬のコクラン システマティックレビュー (薬・清水 忠、 摂南大・薬・上田昌宏)

* 薬：薬学部、看：看護学部。

「ものづくり」支援

<到達目標>

- ⑤-1：企業との共同研究の実施 2 課題以上/年
- ⑤-2：企業における課題解決に資する
Project Based Learning (PBL) 実践学
生 5 名以上/年
- ⑤-3：企業における新製品開発支援 2 件
以上/年

到達目標⑤-1～⑤-3は以下に記すように
2020 年度も達成できました。

2020 年度は 5 企業（前年度 8 企業）と 6
課題の共同研究を実施しました（表 1）。こ
れらの共同研究では、（株）ホーマーイオン
研究所の課題について理学療法学科の学生 2
名、（株）木幡計器製作所の課題について理
学療法学科の学生 3 名、（株）ナガセビュー
ティケアの課題について薬学部の学生 6 名、

マクセル（株）の課題について理学療法学科
の学生 5 名、総数 16 名が PBL を実践できま
した。

一方、本学との連携により企業が開発した
新製品としては、「薬活オウルズ」が開発支
援した（株）ウェルネスサプライの「ポカポ
カとうき葉風呂」「特選新葉とうき葉茶」、
そして東京クラフトリキュールの「TOM
GIN #15 橘・丹波当帰」が挙げられます。



「まちづくり」支援

<到達目標>

- ⑥-1：地域の健康づくりに資する Service
Learning 実践学生 20 名/年
- ⑥-2：「兵庫医療大学健康づくりサポー
ターバンク事業」新規登録者 5 名/年

2020 年度は、本学公認サークル「ポーアイ
多職種連携学生ネットワーク（ポーアイネッ
ト）」の学生達はまったく活動できませんでした。また、2018 年度に立ち上げた「兵庫医
療大学 健康づくりサポーターバンク事業」で
は、リハビリテーション学部・講師・永井ら
が主催する「介護予防推進サポーター養成プ
ロジェクト」講習会も開催自粛しました。そ
の結果、到達目標⑥-1 と⑥-2 を未達です。

しかし、既に同講習会を修了し、本学サポ
ーターバンク事業に登録しているサポーター

(総登録者数 63 名) の皆さんが、社会性の低下がフレイルや認知症に結びつく可能性があることを憂慮し、7 月 23 日から 2021 年 3 月 25 日にかけて港島ふれあいセンター（毎月第 4 月曜日）、宮本地域福祉センター（毎月第 4 木曜日）そして籠池地域福祉センター（毎月第 3 月曜日）においてデュアルタスクやオリジナルのプログラムを駆使した介護予防体操教室を 18 回（前年度 42 回）も自主運営されました。同教室への参加者延総数は、地域住民 196 名（前年度 826 名）、登録サポーター 86 名（前年度 136 名）でした。

一方、リハビリテーション学部・理学療法学科の 4 年生 5 名は、ステイホームを余儀なくされている地域住民の皆さんの健康づくりを支援するため、学外の公園で試行錯誤しながら制作活動に取り組み、4 ページにも渡るパンフレット「自宅でできる簡単エクササイズ」を永井らの監修の下で完成させました。なお、同パンフレット（2 万部）は中央区の皆さんに新聞折込みとして配布させていただきました。

アタマとカラダを元気に保つ

自宅でできる簡単エクササイズ

自宅で過ごす時間が長くなり、日々の生活が不規則になっている方が増えています。不規則な生活は、アタマやカラダの衰えにつながり、健康寿命に影響をもたらします。そのような方々を一人でも救済するため、自宅でできる運動のパンフレットを作成しました。毎日取り組み、健康的な生活を送りましょう！

運動する時に気をつける 6 ポイント

- ✓ 首段と体調が異なる場合は無理しない。
- ✓ ストレッチングをしてから運動する。
- ✓ 痛みがない範囲で運動を行う。
- ✓ 運動中に息を止めないようにする。
- ✓ 運動中に転ばないように注意する。
- ✓ 水分補給を忘れずに。

※疾患による運動の制限がある方は、主治医の指導に従ってください。

ストレッチング Stretching **伸びる箇所** 各10~15秒

手首

手を前に伸ばして手のひらを上に向け、反対の手で手首を下へ曲げる。次に手の甲を上に向け同様にする。

肩

タオルを肩幅よりやや広く持ち、腕をしっかりと上げる。胸を張るように意識する。

肩

体の後ろでタオルを持ち、腕を後ろに引く。胸を張り、体が前に倒れないように。

わき腹

肩幅より広くタオルを持ち、体を横へ倒す。タオルで体を引っ張るイメージで。

体ひねり

足はそのままで、後ろを振り向くイメージ。両手でイスの腰をつかんで体をねじる。

お尻横

イスに座り、足首を反対の太ももに挟ませて体をたおす。肘でヒザを抑えると効果的！

太もも裏

遠くイスに寄り、ヒザを押さえて体を前に倒す。背中を丸めず、つま先を上に向ける。

ふくらはぎ

足を前後に開き、反動はつげずに後ろ足のアキレス腱を伸ばす。

Point ゆっくり心地良い張りを感じる範囲で行いましょう。自然な呼吸で行いましょう。

※撮影時の姿勢が目的のため屋外で撮影を行っていますが、いずれも自宅で行って頂くことを想定しています。

ここからは難易度別！
いくつ当てはまる??

✓ Check!

1. 階段を手すりや壁を使わずに昇れる	
2. 椅子から何にもつかまらずに立ち上がれる	
3. 15分くらい続けて歩く体力がある	
4. この1年間で転んだことがない	
5. 転倒に対する不安はない	

2個以下 **かんたんコース!**

3個以上 **チャレンジコース!**

筋力トレーニング 各10回×2~3セット 行き 4 秒、帰り 4 秒のペース

Resistance Training

かんたんコース

スクワット

足を肩幅より少し大きめに開き、やや前傾姿勢でヒザを曲げる。体はまっすぐ保ち、丁寧に下るイメージで行う。

かんたんコースの姿勢で深くヒザを曲げる。

壁から1歩下がり、肩幅より大きく手を突き、肘を曲げ伸ばしする。前に倒れる体を、手で支えるイメージ。

床上でヒザをついて行う。体をまっすぐにし、肘を曲げ伸ばしする。

仰向けでヒザを立て、お尻を離しながらおへそを床の近くに行う。

太ももを離しながら肩甲骨が床から離れるくらいまで上体を起こす。

手、体、足が一直線になるように。離しければ、手足は少し上げるだけでもOK。

左の写真の姿勢から、ヒザと手をお尻の前まで引き付ける運動を繰り返す。

腰筋

よつばい

かんたんコース

仰向けでヒザを立て、お尻を少し上げる。写真よりも低くてOK。

おしり上げ

ヒザから肩までが一直線になるまで上げる。上げすぎないよう注意。

共通コース

足の開き

椅子に手をつきながら、片足を横に上げる。上げた際、つま先を外へ向けないのがポイント。

かかと上げ

体を支えながら両足でつま先立ちをする。天井に向かって伸びあがるようにする。

Resistance Training

ももあげ

椅子に座り、背筋を伸ばして、ヒザをゆっくり上げる。腰が丸くならないように。

筋トレのPoint 余裕がある場合は足を地面に降りしきらない（スクワットはヒザを伸ばしきらない）ようにすると効果アップ！

バランストレーニング Balance Training 慣れれば目標を前方に

かんたんコース

片足立ち

椅子など、支えられるものの近くで行う。体の軸をできるだけまっすぐに！

30秒×2

つぎ足立ち

足を右の足のようにならべて立つ。椅子などの近くで行う。

30秒×2

つぎ足歩き

30歩

慣れれば目標を前方に足をそろえて自然なスピードで歩く。

チャレンジコース

片足立ち

椅子など、支えられるものの近くで行う。体の軸をできるだけまっすぐに！

30秒×2

つぎ足立ち

足を右の足のようにならべて立つ。椅子などの近くで行う。

30秒×2

つぎ足歩き

30歩

慣れれば目標を前方に足をそろえて自然なスピードで歩く。



登録サポーターの皆さんの熱意と行動力により「地域の、地域による、地域のための健康づくり」が自主的に実践されただけでなく、地域に定着してきたこと、そして学生たちが「地域の、地域による、地域のための健康づくり」を支援するために素晴らしいパンフレットを自主制作したことは、本学だけでなく地域にとっても大きな成果だと考えています。

自己点検・評価

2020 年度の活動を通して、社学連携ポリシー②「地域医療を担う人材の育成」について設定した到達目標②-1 と②-2、ポリシー⑥「まちづくり」支援において設定した到達目標⑥-1 と⑥-2 については未達ですが、ポリ

シー①、③～⑤において設定した到達目標については何とか達成できました。

ポリシー②と⑥の到達目標が未達に終わった原因が COVID-19 禍であることは疑う余地ありません。しかし、それだけが原因ではありません。地域医療の発展または地域の健康づくりに資する Service Learning の場を学生たちに提供できなかったもう一つの原因は、対面での Service Learning しか想定していなかった本学のリスクマネジメントの甘さです。2020 年度に学部学生・大学院生に向けて Zoom、Meet、Teams などを活用しつつ非同期型または同期型リモート授業を実施した経験を糧に、新しい生活様式に対応できるフレキシブルな社学連携活動オペレーションシステムを立案そして確立する必要性を痛感した次第です。ただし、学生たちの学びのある Service Learning の対象者の多くが、リモート参加するためのツールやノウハウを持たない、つまりデジタル難民とよばれる高齢者であるという大きな課題も立ちはだかっています。

これらの課題が浮き彫りにされた 2020 年度をポジティブに捉え、地域住民の健康増進・介護予防と、地域医療専門職者の生涯学習支援をウィズコロナ・ポストコロナ時代において実践できる社学連携活動プラットフォームをソフト・ハードの両面から、より一層、強化・整備していく所存です。

以上

社学連携推進機構 2020 年度報告書

発行日 2021 年 6 月

発 行 兵庫医療大学

社学連携推進機構

〒650-8501 兵庫県神戸市中央区港島 1-3-6

TEL 078-304-3111

【兵庫医療大学 社会学連携ポリシー】

①地域創生をめざして

兵庫県は、他の地方自治体と同様に、少子高齢化、転出超過などの問題に直面しています。これらの問題点を解決するため、兵庫医療大学は、兵庫県ならびに県内の市町村と協働し、本学の知と経験を地域創生のために積極的に活用していきます。

②地域医療を担う人材の育成

超高齢社会に突入した日本では、今後さらに、地域医療の充実が求められます。兵庫医療大学は、地域社会から地域社会とともに学ぶ双方向型教育研究を実践し、高度医療専門職者として地域に根ざして地域医療を担う人材の育成に取り組みます。

③共同研究・受託研究の推進

科学技術創造立国を目指す日本において、大学の研究活動に大きな期待が寄せられています。兵庫医療大学は、本学の知的財産などの様々な研究成果を活用する共同研究・受託研究を推進し、大学の知と経験の社会還元積極的に取り組みます。

④「ひとづくり」支援

「21世紀兵庫長期ビジョン」において兵庫県は、県民主役・地域主導による一人一人が元気な成熟社会を目指しています。兵庫医療大学は、この兵庫県の取り組みを支援するため、高大連携、生涯学習、リカレント教育などの学びの場を積極的に提供し、地域社会における「ひとづくり」に、持続的に取り組みます。

⑤「ものづくり」支援

医療や健康づくりをキーワードとして「ものづくり」に取り組んでいる在兵庫企業は、独自技術の未活用、科学的根拠の不足など、様々な課題を抱えています。兵庫医療大学は、本学の知と経験を活用することにより、それらの企業が直面する課題の解決を目指して協働し、地域社会における産業イノベーションを積極的に支援します。

⑥「まちづくり」支援

「ひとづくり」と「ものづくり」だけでなく、「まちづくり」も大学に求められている社会貢献の一つです。兵庫医療大学は、兵庫県、県下の市町村、そして地域社会と協働しつつ、教職員だけでなく、学生達の地域活動への参加を促進し、大学の知と経験を活用した「まちづくり」に取り組みます。